

造影 X 線検査または MRI 検査を受けられた方へ

1. 造影 X 線検査 (CT, IVP など) を受けられた方

造影剤を用いて X 線検査を受けられた方の中には、検査終了後に遅れて軽い副作用がみられる場合があります (遅発性副作用)。症状が出るのは検査後 1 時間程度から数日後まで幅がありますが、造影検査を受けられた方の約 8% に認められます。

遅発性副作用は一般に軽い症状が多く、頭痛、吐き気、めまいなどの主観的な症状と、発疹、かゆみ、じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。多くは検査後数時間以内に発生し、症状出現後数時間以内に消失します。皮膚症状はやや遅れる傾向にあり、数日後にみられる場合もあります。極めて稀ですが、ショックやアナフィラキシー様反応 (例えば呼吸困難や血圧低下) などの重い副作用が遅れて出る場合があることも報告されています。

2. 造影 MRI 検査を受けられた方

造影剤を用いて MRI 検査を受けられた方の中には、検査終了後に遅れて軽い副作用がみられる場合があります (遅発性副作用)。症状が出るのは検査後 1 時間程度から数日後まで幅がありますが、現時点でその頻度は判明していません。

遅発性副作用は一般に軽い症状が多く、頭痛、吐き気、めまいなどの主観的な症状と、発疹、かゆみ、じん麻疹などの皮膚症状が中心で、治療を必要とするものは少ないとされています。極めて稀にショックやアナフィラキシー様反応 (例えば呼吸困難や血圧低下) などの重い副作用が遅れて出る可能性もあります。

造影剤の遅発性副作用に関するご相談・受診は担当医師または下記までお願いいたします

聖マリアンナ医科大学病院 画像診断センター
救命救急センター

